

令和7年度  
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減  
優良取組表彰



2025  
受賞者  
紹介

## 大塚産業マテリアル株式会社

(滋賀県長浜市八幡中山町1番地)

### 産廃処理していた製品端材の リサイクル転用



居住空間を創造する

大塚産業マテリアル株式会社

OTSUKA SANGYO MATERIAL Inc.

#### 大塚産業マテリアル株式会社の取組

大塚産業マテリアル株式会社は、製品端材として廃棄されていた廃プラスチックをリサイクル転用することで、プラスチックごみ問題の解決と環境負荷の低減に貢献しています。

当社では、自動車部品の製造過程で発生するウレタン端材を廃棄せず、新たな製品へと生まれ変わらせる仕組みを構築しました。廃棄物の有効活用により、環境に配慮した製品開発を実現しています。

本取組の最大の特徴は、大阪の建材メーカーと連携し、自動車産業の廃棄物を建設業の資材としてリサイクルする異業種間連携を実現した点にあります。2023年11月の開始から継続しており、これまで産業廃棄物として処理されていた端材を原料として再利用することで、廃棄物量の大幅な削減に成功しました。

リサイクルされたウレタンは、ホテルやマンションの床下地、バリアフリー化に伴う段差解消材として活用されています。今後は高齢化に伴う住宅リフォームや、災害時の仮設住宅需要への対応も見込んでいます。当社はこれからも、本取組を通じて産業廃棄物課題の解決と、持続可能な社会の構築に積極的に貢献してまいります。



令和7年度  
滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減  
優良取組表彰



2025  
受賞者  
紹介

大塚産業マテリアル株式会社



受賞者コメント

この度、令和7年度の「滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減優良取組表彰」にて名誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。今まで産業廃棄物として扱っていたゴミを再利用できないかと、日々試行錯誤を重ねてまいりました。今回のこの取り組みを通じて、固定観念を見直すきっかけとなりました。この世の中にはゴミは存在せず、すべてが資源に変わる可能性があると感じられました。今後も異業種企業と連携し、循環型社会の実現に努め、環境保全と資源の有効利用を使命とし、社会への貢献に努力を続けてまいります。

